

スピーカー インピーダンス特性測定ユニット

ZM-S

技術解説書

第2版
2012年2月15日



有限会社オメガ電子

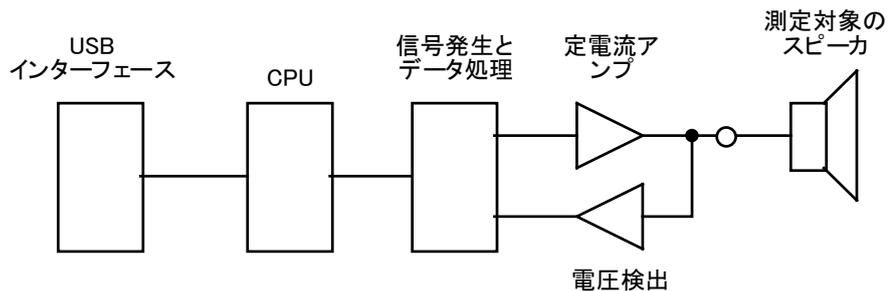
ZM-S

概要

ZM-S は、パソコンと USB 接続して、パソコンソフト ZMSP.exe とともに使用することにより、スピーカークのインピーダンスの周波数特性を測定するユニットです。

回路構成

ZM-S の回路構成は次のようになっています。



AD5933

信号発生とデータ処理を行うのは、アナログデバイセズ社の AD5933 です。インピーダンス測定専用の特殊な IC で、次のような働きをします。

1. CPU から各種のパラメータを設定することにより、指定周波数の信号を発生します。この信号を定電流アンプをとおして測定対象のスピーカに供給し、一定の電流を流します。
2. スピーカには「電流値×インピーダンス」に相当する電圧が発生します。この電圧をアンプで受けて AD5933 に入力すると、AD5933 は、入力された信号の振幅と位相を計算してくれるので、その計算結果を CPU で読みとります。

信号レベル

測定時にスピーカに流す電流値は、約 3.2mA_{rms} となっています。

測定

CPU は AD5933 に対して、測定周波数を指定して、その結果を読みとる作業を全測定周波数に対して繰り返し行います。

信号電流をスピーカに流してからスピーカが安定するまでに待ち時間をもうけているので、特に低い周波数では測定に時間がかかります。

周波数分解能

測定周波数分解能は、次のようになっています。

測定周波数[Hz]	20.019531	39.0625	78.125	156.25	312.5
周波数分解能[Hz]	0.4882813	0.9765625	1.953125	3.90625	7.8125

測定周波数[Hz]	625	1250	2500	5000	10000
周波数分解能[Hz]	15.625	31.25	62.5	125	250

校正

出荷時に校正を行っています。

この校正値をもとにして、AD5933 から得られるデータから、インピーダンスと位相角を計算しています。

10Ω または 22Ω 程度の固定抵抗をスピーカのかわりに測定して、得られた結果のインピーダンスが抵抗値と一致し、かつ位相角がほぼ 0 度であれば、ZM-S は正常です。

ZM-S 技術解説書

第2版 2012年2月15日

本書の著作権は有限会社オメガ電子が保有しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。
